

一般社団法人全日本機密文書裁断協会 第八期（2021年度）事業報告

今年度は、前年度に経験した新型コロナウイルス感染状況（以下、「コロナ禍」という。）を踏まえ、コロナ禍の状況に応じ理事会・各委員会を開催し、会の運営に努めました。

本会の目的である機密文書の漏えい防止及び、紙の再資源化の必要性を訴求するため、広報委員会では会員各社にご協力をいただきホームページの人気ページとなっている「会員ブログの継続（2巡目）」、ローカルエリアの集客・活性化策として「Googleマイビジネス」・「Yahoo!プレイス」、被リンク対策として会員各社の「ジモティ」掲載・「iタウンページ」登録・本会「LINE公式アカウント」開設等の施策を展開し、会の知名度向上および裁断サービスの普及推進に努めました。

業務品質向上委員会では、機密文書裁断抹消処理士（以下、「抹消処理士」という。）の更新年度にあたるため、会員各社の抹消処理士の更新を行い535名の登録が確認されました。前年度に制定した「ランクアップ制度」の運用を開始し、10名のマイスターと103名の2級処理士が認定されました。また、会員各社がこれまで実務の中で培われた貴重な経験談を「事例集」として、協会ホームページに掲載し情報共有を図りました。

研修勉強会は2月4日（金）TKP東京駅大手町カンファレンスセンターで開催しました。遠方の会員様や会場にご来場いただけない会員様にも参加いただけるよう、会場と会員各社をWebで繋ぐハイブリッド方式で行ないました。セミナー講演として、有限会社古紙ジャーナル社 本願貴浩氏による「日本の古紙リサイクル市場の変化」をテーマに会員・関係者を含め68名が参加、新たな知識を深める機会となりました。

ブロック活動助成金制度では、コロナ禍により各地域ブロック会の活動が制限される中、リモート会議開催や、裁断サービス時に着用するマスク等が配布され、各ブロック内の連携強化を図りました。

【会員の異動数】

区分	会員		増減
	2021年4月	2022年4月現在	
正会員	61社	61社	0社
賛助会員	8社	8社	0社
合計	69社	69社	0社

退会企業：＜正会員＞ 株式会社光葉産業運輸（2022年3月）

入会企業：＜正会員＞ 株式会社九十九紙源センター（2022年4月）

1. 裁断業務の品質対策

(1) 定例研修勉強会の実施

2022年2月4日(金)「一般社団法人全日本機密文書裁断協会 2021年度 研修勉強会」をTKP東京駅大手町カンファレンスセンター(東京都千代田区)で開催しました。今年度に発足した研修勉強委員会を主体に、会場より遠方の会員様やご都合により会場にご来場いただけない会員様にもご参加いただけるよう準備を行い、会場と会員各社をWeb配信で繋ぐハイブリッド方式により開催いたしました。今年度の各委員会による事業展開や取り組みについて、広報委員会より「Googleマイビジネス」・「Yahoo!プレイス」の要点と注意点、業務品質向上委員会より「ランクアップ制度」の認定者数の報告や、「成功・失敗事例集」について説明が行われ、情報を共有しました。引き続きセミナー講演として、古紙ジャーナル社 本願 貴浩氏による「日本の古紙リサイクル市場の変化」をテーマに会員様・関係者を含め68名が参加、新たな知識を深める機会になりました。

研修勉強会後のアンケートでは、職場の自席や複数名で職場の会議室等でご視聴をいただき、「他業種である古紙業界の歴史が知れて良かった」、「今後もZoomで参加したいと思います」、「最新と過去の構成でとても勉強になりました」等、様々なお声を頂戴しました。来年度以降の研修勉強会も頂戴したご意見を参考にし、コロナ禍の状況に応じた内容で検討してまいります。尚、研修勉強会Web配信の動画、講演資料は、協会ホームページの会員専用ページに掲載しておりますので、是非ご覧ください。

【研修勉強委員会議開催日】

2021年9月16日 リモート会議
2021年10月15日 リモート会議
2022年1月19日 株式会社山本清掃 会議室

(2) 表彰制度

本会員より推薦された下記会員企業を、会の発展に寄与した企業および、社会貢献活動に取り組んでいる企業であると理事会で認め表彰します。

【表彰対象者】

表彰対象者名(企業名)	表彰理由
北清商事株式会社 専務取締役 押切 正明 様	貴殿は 長きにわたり機密文書裁断事業に精励されるとともに北海道ブロック会の理事を歴任され 当会の発展に尽力された
河内運輸株式会社様	貴社は 長きにわたり北関東エリアにおいて 機密文書裁断事業の周知に努められ その実績は全国トップクラスを誇り 機密文書裁断事業の発展・成長につなげてこられた功績があらわれる
河村商事株式会社様	貴社は 段ボール古紙回収の技術開発により 回収の効率化を図り大幅なCO2削減を実現されるとともに 環境保全の推進並びに物流の健全な発展に貢献された

(3) 機密文書裁断抹消処理士認証制度

「抹消処理士」の「維持」・「管理」を目的に、第八期は有効期限を2年と定めた更新年のため、会員各社の最新情報に基づき「認定証」の更新を行い、535名の登録が確認されました。第七期に制定した「抹消処理士 ランクアップ制度」の運用を開始し、10名のマイスターと103名の2級処理士が認定されました。また、会員各位がこれまで実務の中で培われた貴重な経験談を「事例集」にまとめ協会ホームページに掲載し、本会の財産として協会全体の情報共有を図るとともに、抹消処理士の教育資料としてご活用いただいている「業務品質向上の手引き」の充実化を図り、裁断サービスの品質向上に努めました。

【業務品質向上委員会開催日】

2021年8月6日 リモート会議
2021年10月8日 リモート会議

2021年12月17日 リモート会議

2022年3月24日 株式会社紙資源 会議室・リモート会議(ハイブリッド方式)

(4) 会員企業間の連携強化

今年度のブロック活動助成金制度では、コロナ禍により各地域ブロック会の活動が制限される中、リモート会議の開催や、裁断サービス時に着用するマスク・ワークグローブや販促品としてトイレトペーパーやカテキンマスク、足踏み消毒スタンド等が配布され、各ブロック内の連携強化を図りました。今後も文書裁断サービスの全国組織として、その連携・交流機能を最大限に活用し、サービスの品質向上と、本会更には業界の活性化に結び付けるための活動を展開してまいります。

2. 広報宣伝事業

(1) 本会ホームページの強化策

今年度は、前年度に引き続き本会のホームページの集客対策を行いました。強化施策として、会員各社にご協力をいただきホームページの人気ページとなっている「会員ブログの継続(2巡目)」、ユーザーがローカル情報を検索する時、GoogleやYahoo!の地図上にお店やサービスが表示されるシステムを活かし、会員各社の施設・サービス情報を正確に登録することで、ユーザーへの訴求力を向上させる施策「Googleマイビジネス」・「Yahoo!プレイス」を展開しました。また、被リンク対策として会員各社の「ジモティ掲載」・「iタウンページ」の登録、本会「LINE公式アカウント」の開設を行い、更なるコンテンツ強化に取り組みました。当初計画していた「会員アンケート機能の実装」・「プレスリリース」は上記施策に注力したため、第九期に移行し展開を図ります。これまで広報委員会が展開してきた本会ホームページのコンテンツ強化のアクセス解析では改修前と比較し、「セッション」は496%、「新規ユーザー」は547%、「ページビュー」は386%アップし、何れの項目においてもその効果を確認しました。Web検索により比較検討される見込みユーザーに対し、本会の裁断サービスがより分かりやすく選んでいただけるよう内容の充実を図り、裁断サービスの促進並びに会の知名度向上に取り組んで参ります。

【広報委員会開催日】

2021年6月16日 リモート会議

2021年12月2日 美濃紙業株式会社 会議室

3. 環境保護活動の推進・貢献活動の実施

(1) カーボンオフセットの継続実施

環境に配慮した事業活動を目指し、継続事業としてカーボンオフセットへの取り組みを行いました。

2021年度は 約 216t の CO2 をオフセットしました。

【協力プロジェクト】

- ・森林・林業日本一の町を目指す住田町の間伐プロジェクト
- ・ラジャスタン州・タミル・ナードゥ州での風力発電プロジェクト(インド)

(2) 文書リサイクルの促進

各種事業を通し、全国会員企業の機密文書裁断サービスの展開により、個人情報・機密事項が記載された文書の情報漏洩を防ぐとともに、紙の再資源化を図りました。今後も事業を適正に推進することで、紙資源のリサイクルを促進し循環型社会の実現に寄与してまいります。